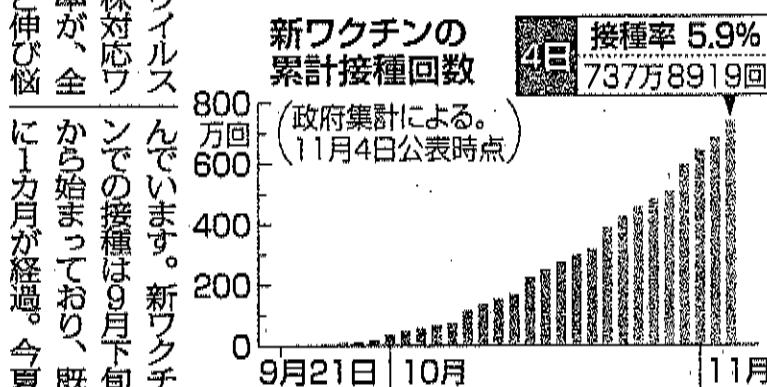


接種開始1カ月
5%台と伸び悩み



オミクロン対応ワクチン

の感染【第7波】が落

は1日当たり最大で40万回台となりまつていています。

とみられていました。専門家は今冬に懸念される「第3の波」の規模はワクチンで抑えられるとして、速やかな接種を呼び掛けています。

内閣官房などによる
と、接種は週末の金・
土曜に集中する傾向が
あります。年代別では
主に40～50代が新ワク
チンを打っている一
方、12歳以上から30代

新ワクチンの累計接種回数は約7300万回（今月4日公表時点）で、接種率は5・9%。政府は希望者への年内接種完了を目指し、1日100万回超の接種体制を整備するとしたが、現状で

までの接種が低迷しています。65歳以上は、約79%が50歳から始まつた従来型などで4回目接種を終えており、今後、新ワクチンでの回目が本格化するところです。

を鳴らします。京都の西浦博教授は、第2波で感染者一人が平均して他人にうつす人數「実効再生産数」が、1.2だった場合、10月から来年2月までの累計感染者数は約44万人と試算。仮にワクチン接種が12月1日100万回超のペースで進めば約55

万人に減少するとしました。入院着数は約33万人から約20万人に抑えられました。